



あおぞら

株式会社 ひこうせん

2025 年 9 月 1 日 第 201 号
〒263-0012
千葉市稲毛区萩台町 632-40
TEL 043-290-8778
FAX 043-290-8779
発行者 木村 伊佐

うなぎ会2025



陽射しが日に日に強さを増してひこうせんに本格的な夏がやってきました
今年度は2度目の土用の丑の日7月31日に「うなぎ会」を開催しました。

今では夏の風物詩として定着した土用の丑の日にうなぎを食べる風習は江戸時代夏に売れなかったうなぎを平賀源内が「本日土用丑の日」と看板を出すように提案したことで大繁盛したのが始まりとされています。

現在では絶滅が危ぶまれるうなぎも多く、日本で食べられるうなぎの約7割が輸入品と言われています。それでも暑気払いに最適な食べ物として人気のうなぎはビタミンA・BやDHAなどを豊富に含み、疲労回復や食欲増進、免疫力アップにも効果があるとされています。

当日は朝から「今日はどうなの?」と尋ねる声が上がっており皆さんも心待ちにしておりました。お重が運ばれると待ちきれず蓋を開けて覗き込む姿も見られました。

今年もうなぎは一人一尾、もちろん国産です。うなぎが苦手な方には「すき焼き重」をご用意しました。

「うなぎを食べて夏を元気に乗り切るぞ!!」「おおっ」の掛け声で一斉に食べ始めた皆さん、リビングは静まり返り、夢中でお召し上がりです。すぐにお重は空っぽに(笑)「今皆さんは何を食べたのですか?」の質問に「かつ丼!」「天丼!」「とユーモアたっぷりの答えが返ってきて皆さんがどっと笑いました。

リビングに笑顔の花が咲きました。
お食事の後にはうなぎパワーでエネルギー満タンになった皆さんと「村祭り」を大合唱、「どんどんやうらら、どんひやうらら」と歌声が響き渡り、リビングはお祭りのような賑わいに包まれました。
ごちそうに舌鼓を打ち、元氣いっぱいこの歌声で盛り上がった今年のうなぎ会、1年に1度の贅沢を心から楽しんだ夏のひとときでした。

令和7年度第2回運営推進会議

8月21日(木)第2回運営推進会議を開催しました。ご家族7組8名、萩台天台あざみ自治会民生委員、あんしんケアセンター天台、千葉薬品の薬剤師の方々にもご参加いただき、幅広い視点から意見交換が行われました。

会議では、現状報告としてホームの運営体制やスタッフ配置の状況の進捗について、シルバークーの安全確認の重要性を再認識したひやりハッと事例を紹介しました。

また新聞記事を資料として配布し熱中症・脱水のリスクや栄養・介護美容の効果、排泄ケア、終末期医療に関する考え方について、情報共有を行いました。

千葉薬品薬剤師の方から「OTC(市販薬)」と類似薬の違い、抗菌薬の適正使用、高額アルツハイマー治療薬について専門的な内容をわかりやすくご説明いただき学びの機会となりました。

ご家族からも活発な質問やご意見も寄せられ有意義な会議となりました。

これからも地域やご家族、医療提供施設としての薬局と連携しながら、安心できるサービスの提供に努めてまいります。
猛暑の折、お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございました。